

みんなで学ぶ、つくる憲法・地方自治に根ざしたまちとくらし

現地分科会14

みんなが先生 みんなが生徒  
第65回 自治体学校 岡山

2023年7月-22日(土)-23日(日)-24日(月)

# 水島でカーボンニュートラルの 取り組みを学ぶ

◆と き：7月23日(日) 9:45~14:30

◆ところ：水島愛あいサロン (倉敷市水島東千鳥町 1-50)

## ◆基調講演

「今ある技術の活用でコンビナートのカーボンニュートラルは可能」  
歌川 学氏 (産業技術総合研究所主任研究員)

\*参加費：分科会2000円、視察3000円、弁当1000円

世界的な気候危機への対応として、産業、運輸、民生等様々な部門での温室効果ガス排出削減が喫緊の課題と言えます。この課題をどう進めるか、大規模コンビナートが操業する水島で、①市民と行政が連携する民生部門の取り組み、②企業と行政が連携しての産業部門の取り組み、③今ある技術の活用の有効性について学びます。



(水島コンビナートの眺望)



(みずしま資料交流館)

※参加申し込みなど詳しくは裏面をご参照ください。

問い合わせ先：水島地域環境再生財団 (みずしま財団) 086-440-0121 担当：福田

第 65 回自治体学校 in 岡山 現地分科会 1 4  
水島でカーボンニュートラルの取り組みを学ぶ

◆希望者現地視察 現地案内:みずしま財団理事・研究員 塩飽敏史氏

(バス定員 35 人:定員に達し次第締切ります。最少実施人数 15 人)

14 時 30 分頃 愛あいサロン出発 ⇒ 鷲羽山(鴨が辻山 水島展望台)で水島コンビナートの眺望 ⇒ コンビナート地域をバスから見学(松江地区で一端下車)⇒ みずしま資料交流館(あさがおギャラリー)見学 ⇒ 16 時 30 分頃 JR 倉敷駅解散

<概要>

水島の地域開発とそれにともなう公害の歴史と環境再生のまちづくりについて学びます。倉敷市の環境測定の体制についても見学し、合わせて、半年前にオープンした「あさがおギャラリー」で、「まちの記録と人々の記憶を紡ぐ」取り組みについても学びます。

◆分科会 9:45~14:30 水島愛あいサロン(倉敷市環境交流スクエア)

\*民間団体と行政との連携

現地報告:「ストップ温暖化倉敷実行委員会」について

福田憲一氏 (水島地域環境再生財団代表理事)

住民団体と川崎市が連携して進める地域での温暖化防止の組織づくり

庄司佳子氏 (川崎市地球温暖化防止活動推進センター長)

\*企業と行政との連携

水島コンビナート「カーボンニュートラルネットワーク会議」

岡山県産業労働部産業振興課長

\*研究者から

基調講演「今ある技術の活用でコンビナートのカーボンニュートラルは可能」

歌川 学氏 (産業技術総合研究所主任研究員)

\*質疑討論

※下記「申込書」に記入し、メールまたは FAX で申し込んでください。

1 4分科会参加申込書

(フリガナ) 参加者氏名								
住 所	〒							
携帯電話								
電 話					FAX			
メールアドレス								
参加分科会 (○を記入してください)	分科会		視察		弁当			
参加費	参加費 ( ) 円			視察参加バス代 ( ) 円		弁当代 ( ) 円		合計
申込先	メールアドレス webmaster@mizushima-f.or.jp				FAX 086-446-4620	水島地域環境再生財団		

※個人情報、現地分科会企画のため使用し、他には使用しません。